

報道関係各位

2023年10月12日
株式会社クロス・マーケティング

「お茶」は世代を問わず日常生活に深く浸透 若年層は「甘い味」のするお茶も好み

— お茶に関する調査（2023年） —

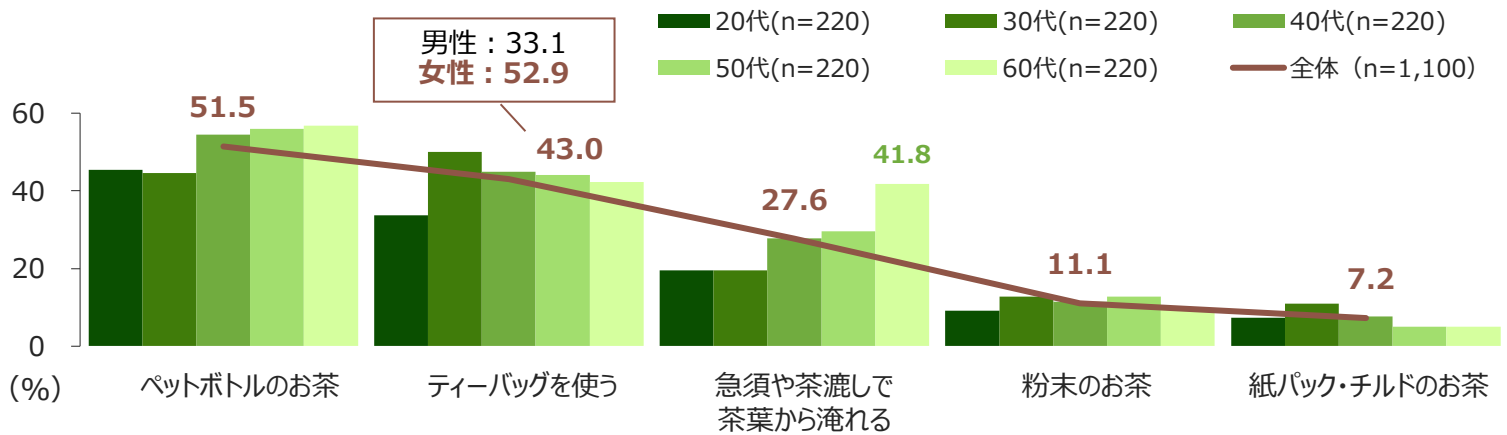
株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の男女を対象に「お茶に関する調査（2023年）」を実施しました。お茶は古くから人々に親しまれ、今でもペットボトルやティーバッグなど様々なかたちで飲まれています。今回は、普段の生活の中でのお茶の飲み方や好み、種類などを調査しました。

◆自主調査リリースの続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20231012tea/>

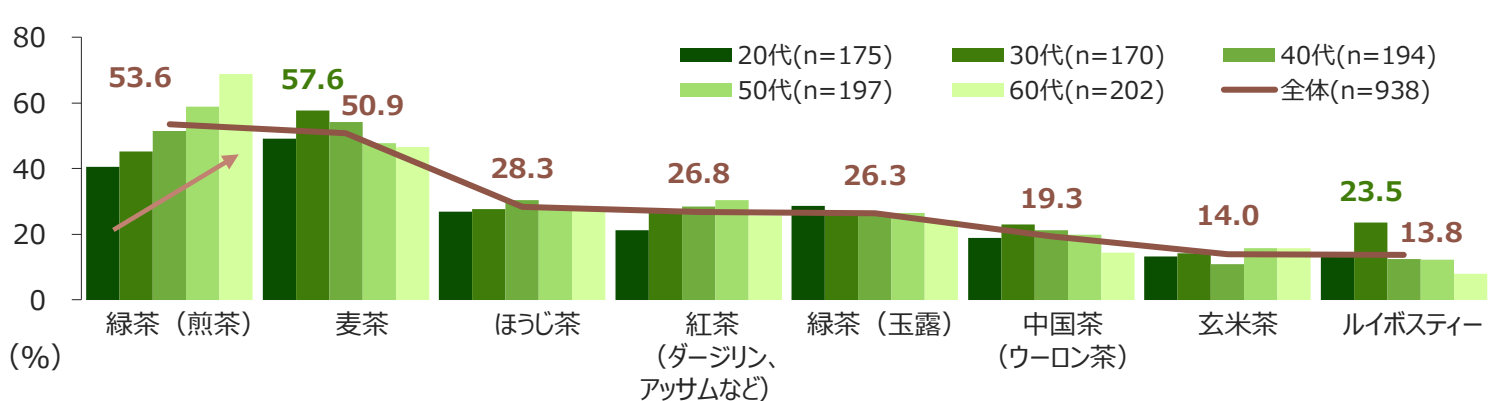
■ 調査結果

- ✓ **お茶の飲み方として、「ペットボトルのお茶」が51.5%でTOP。「ティーバッグを使う」が43.0%で続く。〈図1〉**
年代別では、「急須や茶漉しで、茶葉から淹れる」は60代で41.8%と他の年代より顕著に高い。女性は半数以上が「ティーバッグを使う」と回答。
- ✓ **普段飲むお茶の種類を聴取したところ、「緑茶（煎茶）」「麦茶」が5割を超えて上位にあがった。〈図2〉**
「緑茶（煎茶）」は年代が高いほど多く飲まれている。30代は他の世代より「麦茶」「ルイボスティ」が高い。
- ✓ **お茶の飲み方・味の好みについて、「甘い味がついている方が好き」は3割弱。「なるべく濃いものを好む」人は6割。「牛乳やミルクを入れて飲む」人は2割にとどまった。〈図3〉**
「甘い味を好む」人は、20～30代で4割を超える。
- ✓ **「お茶なしでは生活できない」と回答した人は約3割。そのうち最も多いのは20代で35.4%となった。〈図4〉**

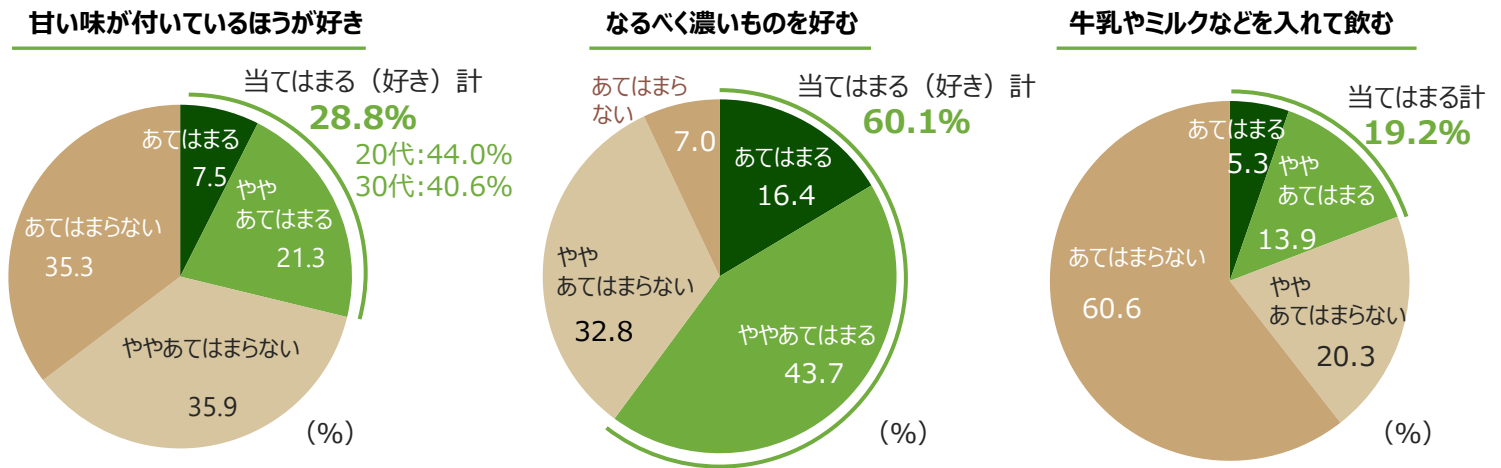
〈図1〉 お茶の飲み方TOP5（複数回答）



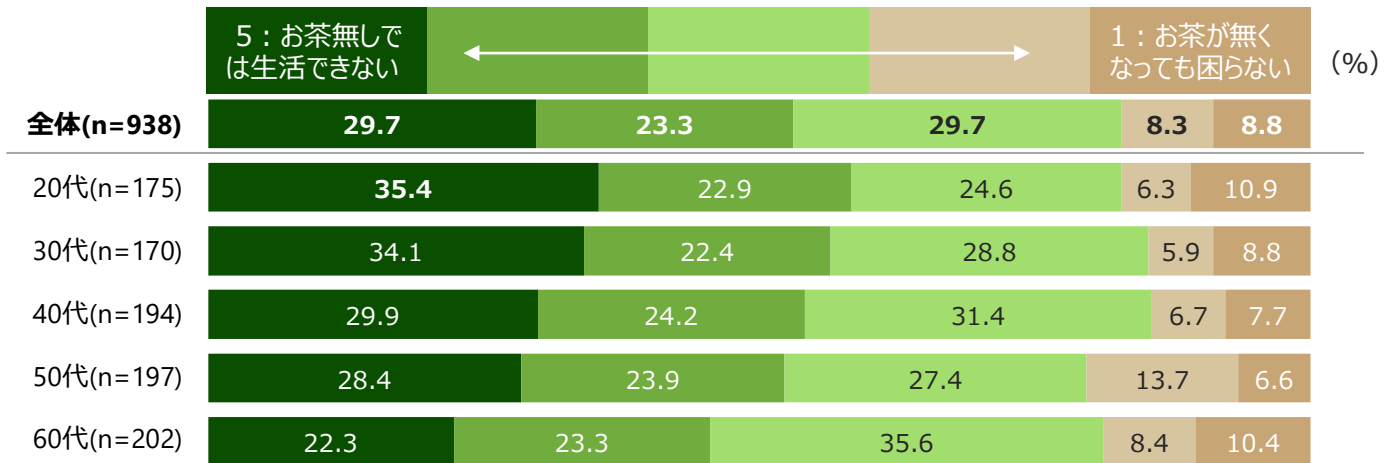
〈図2〉 普段飲むお茶の種類TOP8（複数回答：お茶を飲む人ベース）



<図3> お茶の飲み方・味の好み (単一回答:n=938:お茶を飲む人ベース)



<図4> お茶はどういった存在か (単一回答:お茶を飲む人ベース)



■ 調査項目

- 属性設問
- お茶の飲み方
- 普段飲むお茶の種類
- お茶の飲み方・味の好み
- お茶はどういった存在か

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20231012tea/>

■ 調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ (クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用)
 調査地域 : 全国47都道府県
 調査対象 : 20~69歳の男女
 調査期間 : 2023年10月6日(金) ~ 10月9日(月)
 有効回答数 : 本調査1,100サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <https://www.cross-m.co.jp/>
 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立 : 2003年4月1日
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容 : マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルティング

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275
 E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

«引用・転載時のクレジット表記のお願い»

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」